

# 九州大学 (福岡県)



きめ細やかなサポート, 充実した日本語クラス, 学部授業自由選択

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

九州大学は、1911年に九州帝国大学として誕生して以来、約1世紀にわたって、多くの人材を世に送り出し、顕著な研究成果を社会に発信し続けている。現在、学生約19,000名、教員約2,100名、職員約2,300名が在籍し、12学部、18大学院、4附置研究所、病院などを擁する我が国有数の総合大学である。

2011年には創立百周年を迎え、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念とし、「九大百年、躍進百大」、すなわち、すべての分野において世界のトップ百大学に躍進することを行動計画として掲げている。

また、九州大学は、九州の玄関口、福岡に位置することから、地理的・歴史的にアジアに近く、開学当初から「アジアに開かれた大学」を標榜している。

2018年10月に、九州大学の新たな中心となる新キャンパス（伊都キャンパス）への統合移転が完了しており、本コースも2015年10月から伊都キャンパスで実施している。

【学部】共創学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、芸術工学部、農学部

【大学院】人文科学府、地球社会統合科学府、人間環境学府、法学府、法務学府（法科大学院）、経済学府、理学府、数理学府、システム生命科学府、医学系学府、歯学府、薬学府、工学府、芸術工学府、システム情報科学府、総合理工学府、生物資源環境科学府、統合新領域学府

### ② 国際交流の実績

【交流協定締結数】（2018.5.1現在）

〈学術交流協定〉

大学間：135機関（30ヶ国・地域）

部局間：259機関（49ヶ国・地域）

〈学生交流協定（覚書）〉

大学間：116機関（26ヶ国・地域）

部局間：161機関（37ヶ国・地域）

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2018年：留学生数2,313人（2018.5.1時点）

日研生12人（内、私費留学生10人）

2017年：留学生数2,201人（2017.5.1時点）

日研生24人（内、私費留学生20人）

2016年：留学生数2,089人（2016.5.1時点）

日研生27人（内、私費留学生15人）

### ④ 地域の特徴

九州大学がある福岡市は、九州の北部に位置し、人口約150万人の商業・貿易都市であり、地理的・歴史的に日本とアジア地域を結ぶ窓口としての機能を果たしている。

福岡空港には、アジアの主要都市からの航空機が飛来する。（9カ国21都市から1日約100便発着）

また、東京便も豊富（羽田発着は1日108便、成田発着は1日24便）であるため、世界各都市からアクセスがよい。

ちなみに、東京ー福岡は約90分のフライトであるのに対し、例えばソウルー福岡は約80分、釜山ー福岡は約50分である。

## ■コースの概要

### ① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

九州大学日本語・日本文化研修コースは、留学生センターが開設するもので、日本語・日本文化研修留学生が、今後の日本研究に必要な日本語能力の向上を図るとともに、日本の社会や文化に関する理解を深めることを目的としている。

### ② コースの特色

日本語・日本文化研修留学生は留学生センターに所属し、留学生センターで開講する「日本語論」、「日本社会文化論」及び「自主研究」の必修科目と、各自の日本研究に関する専攻分野と日本語能力に応じて、文学部、経済学部、法学部などで開講される日本の社会や文化に関する学部学生向けの授業を選択科目として受講することができる。

さらに、留学生センターで開講する技能別の日本語の授業（総合、漢字、会話、作文）も受講することができる。

### ③ 受入定員

40名（大使館推薦5名程度、大学推薦2名程度、他私費留学生）



<オリエンテーション>

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

本コースは、日本国以外の大学に在籍し、日本研究を専攻としている学部学生（1年次生を除く）で、既に基礎的な日本語の学習を終え、本学において日本語で行われる日本の社会や文化に関する授業を受講できる日本語能力（日本語能力試験N1合格程度が望ましい）を有する者を対象とする。

#### ⑤ 達成目標

本コースでは、上記④の資格、条件を満たす学生を11ヶ月間受け入れ、彼らの今後の日本研究に必要な日本語能力の向上を図るとともに、日本の社会や文化に関する理解を深めることにより、諸外国の将来を担う世代に日本への興味・関心を伝播し、日本の事情に通じた指導者となる人材を育成することを目的としている。

#### ⑥ 研修期間

2019年10月1日～2020年8月31日（11ヶ月間）

（2019年9月下旬にオリエンテーション実施）

※奨学金支給期間：2019年10月～2020年8月

※閉講式は2020年8月上旬実施予定

8月上旬授業終了後、8月末まで自主研修期間

選択科目にて集中講義受講可能

#### ⑦ 研修科目の概要・特色

本コースでは、「日本語論」及び「日本社会文化論」科目に加えて、留学生センターで開講する技能別・レベル別の日本語クラスを受講することができる。

##### 1) 必修科目

10月から翌年8月までの11ヶ月間に、次表に掲げる必修科目（2単位）、選択必修科目（24単位）を修得する。これらの科目は、日研生のみを対象として開講されている。

	授業科目	第1期 (10-3月)	第2期 (4-8月)
必修科目	自主研究		2単位 (30時間)
選択必修科目	日本語論	12単位 (180時間)	
	日本社会文化論	12単位 (180時間)	

##### 2) 見学、地域交流等の参加型科目

大学の教育活動の一環として、コース期間中に数回、福岡近郊や九州地域などを巡る見学旅行を実施し、日本の文化や歴史、自然に触れる機会を提供する。

また、自治体や学校、国際交流団体などが実施する様々なイベントに参加することにより、地域との交流を促進するとともに、研修の効果を上げる。



<東風公民館交流会>



<吉野ヶ里遺跡見学旅行>

##### 3) 修了研究の内容

興味のあるテーマを決め、「文献購読」と「社会調査」のいずれかを選び、毎週報告書を提出するとともに口頭発表を行い、学期末にファイナルレポートを提出する。

##### 4) 日本人学生との共修の機会

本コースで、選択科目として履修する4単位は、本学学部学生を対象に開講されている授業科目であるため、日本人学生と同じ授業を履修する。

##### 5) その他の講義、選択科目等

選択科目は本学の学部学生を対象に基幹教育科目として開講されている授業科目及び文学部、法学部、経済学部などにおいて専門教育科目として開講されている授業科目の中から、本コースのコーディネーターの指導のもとに、各自の日本研究に関する専攻分野と日本語能力に応じて選択の上、受講する。

なお、学生たちの多様なニーズに応えるため、カリキュラムの一環として、報道関係者、日本文化研究者をゲストティーチャーに招き、講演会を行っている。今後は、企業経営者等福岡県内にて活躍するさまざまな方へ依頼することも計画している。

また、留学生センターで開講する日本語クラスは、以下のクラスを受講することができる。

	総合	漢字	会話	作文
入門	I1	K2		
初級1	I2		S2	
初級2	I3	K3	S3	
中級入門	I4	K4	S4	
中級1	I5	K5	S5	W5
中級2	I6	K6	S6	W6
上級入門	I7	K7	S7	W7
上級	I8	K8	S8	W8

（いずれのクラスも週2回開講）

## ⑧ 年間行事・年間スケジュール

- 9月下旬 渡日  
9月 オリエンテーション旅行  
10月 開講式、秋学期開始  
11月 地域住民との交流会、見学旅行  
12月 座禅体験・ゲストレクチャー  
1月 長崎原爆講話  
2月 秋学期終了  
4月 春学期開始、日田見学旅行  
5月 吉野ヶ里見学旅行  
6月 歌舞伎鑑賞、小学校訪問  
8月 春学期授業終了、閉講式  
自主研修期間（※選択科目にて集中講義を受講可能）  
8月下旬 帰国

## ⑨ 指導体制

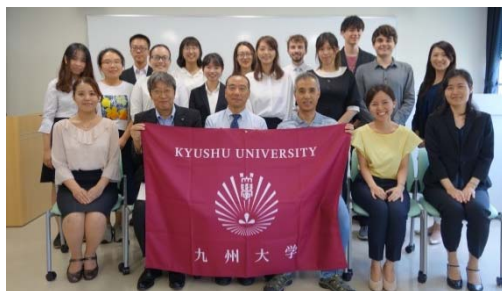
日本語・日本文化研修留学生には、留学生センターの郭 俊海教授がコース・コーディネーターとして各自の学業面等について個別指導にあたる。

さらに、生活面や異文化適応に関しては、留学生指導に関する専門の教員が適宜対応する。

加えて、学生レベルでのサポート体制として、本学学生によるチューターを1名ずつ配置し、日常生活や修学上のサポートを行うとともに、日本人学生との交流が図れるような環境を整えている。

## ⑩ コースの修了要件

必修科目2単位（30時間）、選択必修科目24単位（360時間）及び選択科目4単位（60時間）、合計30単位（450時間）以上の修得を修了要件とし、本学留学生センター委員会にて修了認定を行う。要件を満たしたコース生には、修了証書を授与する。



<日本語・日本文化研修コース閉講式>

## ■ 宿 舎

日本語・日本文化研修留学生は、コース期間中、留学生用宿舎に入居できる。

宿舎は、バス・トイレのほか、机、書棚、ベッド、衣料タンス、冷蔵庫、エアコン、インターネット接続完備。



<ドミトリールI及びII>

※伊都キャンパスの留学生・日本人混住宿舎

## ■ 修了生へのフォローアップ

九州大学日本語・日本文化研修コースは、本学の英語による短期留学プログラムであるJTW (Japan in Today's World) とともに、日本語による短期留学プログラムとして国内外で高い評価を得ている。また、本コース修了者の満足度は高く、その多くが在籍大学卒業後、再び本学や日本の大学院に進学したり、日本企業に就職する等している。

## ■ 問合せ先

<コース・コーディネーター>  
留学生センター・教授 郭 俊海  
E-mail: guo.junhai.841@m.kyushu-u.ac.jp

<担当部署>  
九州大学国際部留学課短期受入係  
住所 〒819-0395  
福岡県福岡市西区元岡744  
TEL +81-92-802-2228 (直通)  
FAX +81-92-802-2287  
E-mail: intlrtan@jimu.kyushu-u.ac.jp

<ウェブサイト>  
日研生ホームページ  
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jlcc/>

九州大学留学生センターホームページ  
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/center/home.htm>

九州大学ホームページ  
<http://www.kyushu-u.ac.jp/>